神戸大学大学院国際文化学研究科

令和4年度（2022年度） 博士課程後期課程入学試験　試験問題

科目名	ページ
英語	1-2
日本語（読解と論述）	3-4
English (Academic Essay)	-
ドイツ語	-
フランス語	-
中国語	-
ロシア語	-
情報科学	5-6
古文・漢文	-

注意事項

著作権に対する配慮のため問題文を省略している場合があります。

令和４年度（２０２２年度）
神戸大学大学院国際文化学研究科　博士課程後期課程

一般入試　筆記試験問題

科目：英語

令和4年度（2022年度）　神戸大学大学院国際文化学研究科博士課程（後期課程）
試験問題　　英語

（注）問題用紙 4 枚、解答用紙 2 枚、下書き用紙 1 枚
問題 I, II の解答は、それぞれ指定された解答用紙に記入すること

問題 I　次の文章を読み、問 1～問 4 に答えなさい。

（問題文省略）

（出典：Hartmut Esser, (2006) "Migration, Language and Integration," *AKI Research Review* 4, pp. ii-iii. 一部改変）

問 1　下線部（1）の this が意味していることを日本語で説明しなさい。

問 2　下線部（2）を This の指示内容を明確にしたうえで日本語に訳しなさい。

問 3　第 2 段落を 100 字以内の日本語で要約しなさい。ただし、句読点も 1 字に数える。

問 4　下線部（3）を日本語に訳しなさい。

問題 II　次の文章を読み、問 1～問 3 に答えなさい。

（問題文省略）

（出典：Devin Griffiths, (2017) "The Comparative Method and the History of the Modern Humanities," *History of Humanities*, Vol. 2, No.2, pp. 474-476. 一部改変）

問 1　下線部（1）の Two alignments とは具体的に何を指しているのか、日本語で説明しなさい。

問 2　下線部（2）を both の指示内容を明確にしたうえで日本語に訳しなさい。

問 3　下線部（3）の This story of separation の指す内容を日本語で具体的に説明しなさい。

令和４年度（２０２２年度）
神戸大学大学院国際文化学研究科　博士課程後期課程

外国籍特別入試　筆記試験問題

科目：日本語（読解と論述）

令和4年度（2022年度）　神戸大学大学院国際文化学研究科博士課程（後期課程）

試験問題　　日本語（読解と論述）

（注）問題用紙４枚、解答用紙４枚、下書き用紙１枚
問題 I、 II の解答は、それぞれ指定された解答用紙に記入すること

問題 I　次の文章を読んで、以下の問 1～問 2 に日本語で答えなさい。

（問題文省略）

（出典：中山大将 『国境は誰のためにある？―境界地域サハリン・樺太―』 清水書院、2019 年、24～29 頁。一部改変）

問 1　下線(1)について、著者がこのように主張する根拠を、本文の内容に即して、200 字以内で述べなさい。

問 2　下線(2)はどういう意味か。本文の内容に即して、300 字以内で説明しなさい。

問題 II　次の文章を読んで、以下の問 1～問 2 に日本語で答えなさい。

（問題文省略）

(出典: 森口佑介 『自分をコントロールする力―非認知スキルの心理学―』 講談社現代新書、2019 年、40～44 頁。一部改変)

問 1 本文の内容に即して、「非認知スキル」と IQ のそれぞれの特徴を述べて、両者が子どもの将来にどのような影響を与えるのかを 200 字以内で説明しなさい。

問 2 下線(1)について、このように著者が主張する根拠を、プロジェクトの目的と内容を明らかにした上で、200 字以内で説明しなさい。

令和４年度（２０２２年度）
神戸大学大学院国際文化学研究科　博士課程後期課程

一般入試　筆記試験問題

科目：情報科学

令和4年度（2022年度）　神戸大学大学院国際文化学研究科博士課程（後期課程）

試験問題　　情報科学

（注）問題用紙１枚、解答用紙４枚、下書き用紙１枚
問題 I, II の解答は、それぞれ指定された解答用紙に記入すること

問題 I　社会における課題に対処するためのアプローチとして、課題に関連する社会の状況をモデル化して分析を行うことがある。課題に対する有効な対処を検討するためには、様々な見方でモデル化を行う必要がある。これについて問１～問４に答えなさい。

問１　実在する課題を具体的に１つ挙げなさい。

問２　問１で挙げた課題に対処する方法として考えられるものを２つ挙げなさい。

問３　問２で挙げた対処法のそれぞれについて、その検討にあたって利用できるモデル化の方法について説明しなさい。その際、問題をどのように捉えてモデル化するのか分かるように説明しなさい。

問４　問３で説明したモデル化のうち１つを取り上げ、そのモデルを用いた分析手順を説明しなさい。

問題 II　近年様々な分野において利用が進んでいる機械学習について問１および問２に答えなさい。

問１　機械学習法は大きく、教師あり学習、強化学習、教師なし学習に分類される。それぞれの学習法の特徴を説明しなさい。また、それぞれの学習法がどういった用途で利用されるのか、２つずつ例を挙げなさい。

問２　時系列データの分析において機械学習を利用したい。これについて以下の（１）～（４）に答えなさい。

（１）分析対象とする時系列データの例を挙げ、その時系列データについて、収集方法および分析する際に注意すべき性質を検討しなさい。

（２）（１）の時系列データを収集後、分析して結果を得るまでの手順について説明しなさい。各手順においては目的だけではなく、利用する手法についても示しなさい。なお、少なくとも１つの手順については機械学習を利用すること。それ以外の手順については機械学習でなくても構わない。

（３）（２）で利用する機械学習法を、問１で挙げた３つの分類に従って分類しなさい。

（４）（２）の手順で得られることが期待される結果について説明しなさい。